

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

T E L (3404) 7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

文化の秋にふさわしく

'07代々木病院健康まつり

10月14日(日)、代々木病院健康まつりは約900人が参加しました。オープニングは南部合唱団の威勢のいい太鼓で開会。井上均実行委員長、友の会会長の八田満穂さんからあいさつがありました。会場では、高齢者体力測定、血圧チェック、金属磨き、歯の相談、耐震相談などが行われ、多くの人が訪れました。



さあ、はじまるよ！

医療危機打開、後期高齢者医療制度中止・撤回を訴える展示と署名コーナー、「戦争をしない国日本」のビデオ上映などで、地域にむけて「いのちと平和を守ろう」とアピーリン・ピアノ演奏、合唱「象列車」、合唱団バ

▼一番人気は友の会のもちつき



ンブーは立ち見客が出るほどでした。特に象列車については「子どもたちの一生懸命な歌声に涙が出ました」といった感想が寄せられました。また、健康まつりでは初となる落語「真田小僧」や、後期高齢者医療制度をテーマにした寸劇などは大好評でした。



感動呼んだ子どもたちの歌声

合計165件の申し込みがありました。今年の健康まつりは出品、出し物がとても充実していて内容の濃いまつりにすることができました。関係者の方々、お疲れがとうございまして、写真・三浦進、実行委員会事務局長・野村雅樹、嘉瀬秀治



外来スタッフによる「千恵子よされ」



▲落語で笑っておなかの運動



▼真剣な表情で体力測定もいか飯販売でカンパ活動(青年J.B.)



すばらしい作品がズラリ



手術台

千葉正子 先生が逝ってから2カ月がたとうとしてい

る。被爆者医療に生涯をかけられた先生であった。代々木病院の創設期を担った医師たちが次々と消えていく。寂しいことである▼代わって新しい業務に目覚めた新しい医師や職員が日々奮闘している。現役としては、今ぐらい苦しい時はないと思っている。しかし、本心ではいつも苦しいのではあるまいか。非営利共同を掲げる以上「苦しさ」はついて廻るからである。昔はよかったというの、誤りであろう。時間は苦しみを生み出し、苦しみを浄化し懐かしさを残すからである。代々木丸はいつの時代も激浪の中をのたうっている。羅針盤を曲げなかったのは患者さんや「友の会」多くの支持者の下支えのおかげである▼図書室に「一点の火から」という本が眠っている。かつての代々木丸のこぎ手たちの記録(病院史)である。色づいた葉がハラハラと落ち、一番心が澄む霜月、多忙を縫って手にとって欲しいものである。苦しさや焦燥が少しは癒されるはずである。(ま)

いのちと平和を守ろう